

第4学年 道徳科学習指導案

令和5年10月4日（水）第5校時

- 1 主題名 仲間を守るきまり 内容項目【C 規則の尊重】
- 2 ねらい インターネットを介した学習から、インターネットでのきまりを考えることを通して、約束やきまりがあつてこそよりよい人間関係や集団生活が築けることに気付き、進んで守ろうとする態度を育てる。
- 教材名 「よろこびはだれに」（出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校第3学年および第4学年の【C 規則の尊重】の指導の観点は、「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」である。3・4年生の段階では、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。そのような発達の特性を活かし、一般的な約束や社会のきまりの意義や良さについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに社会集団を維持発展する上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公德心を進んで大切にす態度にまで広げていく必要がある。特に集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立ち、よりよい人間関係を築くことや集団の向上のために守らなければならない約束やきまりを十分考えることが必要である。

(2) これまでの学習状況および児童の実態について

(略)

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、ネットに上がった動画を手本にして縄跳大会の練習をし、大会へ向けての練習で新記録を出し、喜びいっぱい「人の役に立ちたい」との思いからネットに動画をあげたいと思う主人公の気持ちを考えることでねらいに迫るものである。

本学級の児童の実態を受け、主に次のことを中心に話し合うことにする。

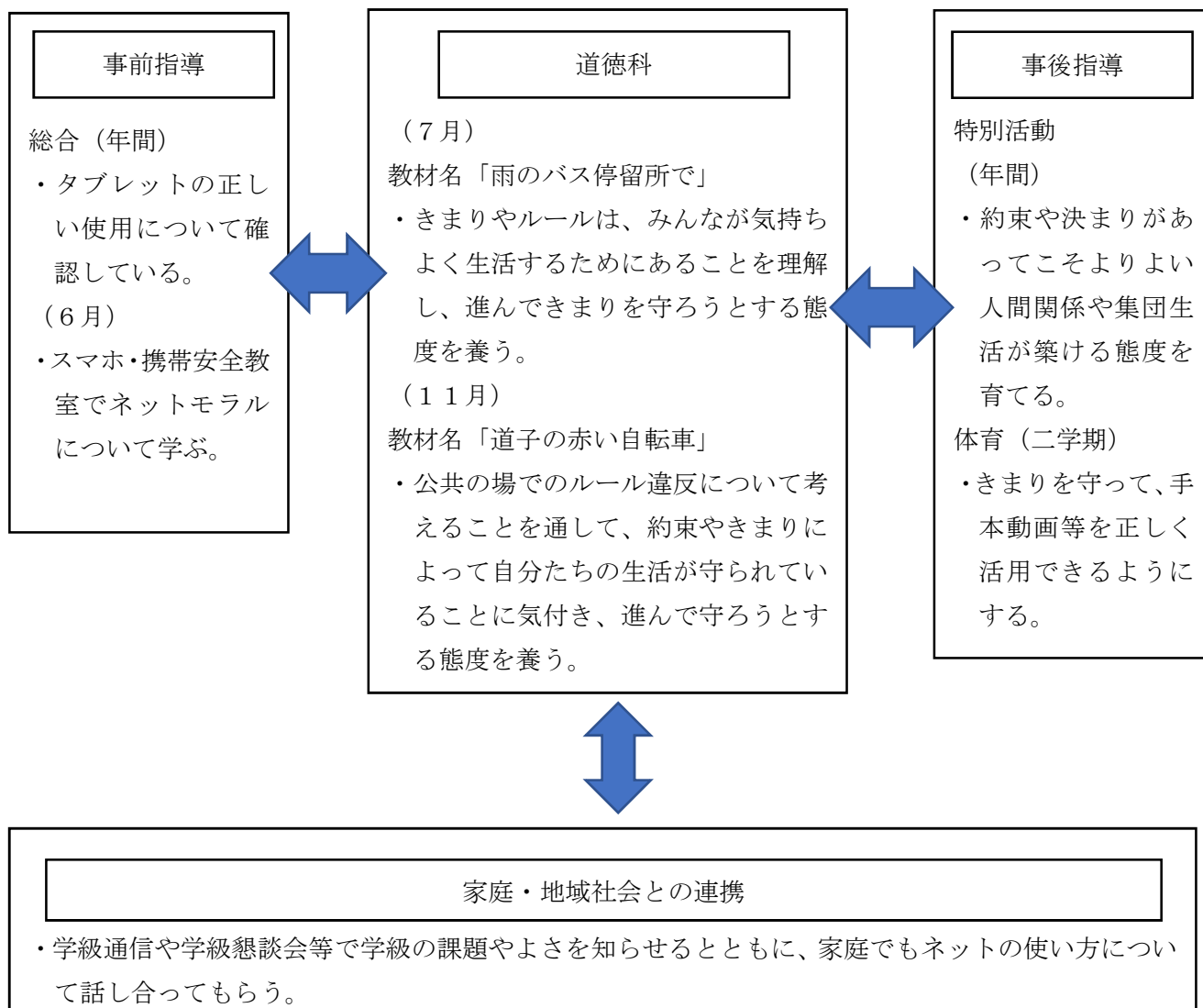
- ①「動画をネットにのせたい気持ちとネットにはのせたくない気持ち」の両方を考えることで、ネットに動画をのせることのリスクと良さについて両面から考えさせたい。
- ②「結果として、ネットを動画にのせられなかったわたしが、次の日に先生からの話を聞いて考えていること」について、動画をネットにのせることにはリスクがあることを全員で考えさせたい。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点	時間
導入	1 主題に対しての意識を高める。 ・ネットで素晴らしい動画を見つけたとき、どんな気持ちになるでしょう。	・すごいと思う。 ・自分もやってみたい。 ・お手本にしたい。	・動画の良さについて思っていることを話し合い、本時の教材につなげる。	3
展開	2 本時の課題を知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">きまりを守るについて考えよう</div>			3 2
	3 教材「よろこびはだれに」の読み聞かせを聞く。		・状況が伝わるように読み聞かせをする。	
	4 登場人物の気持ちについて考えることを通してルールを守るについて考えを深める。 (1)新記録が出たときの場面 ・新記録が出たときどんなことを思ったのでしょうか。 (2)動画をのせようとしている場面 ・動画をのせようとしているわたしは、どんなことを考えているのでしょうか。 「ネットにのせたいと思う気持ち」 「ネットにはのせたくないと思う気持ち」	・うれしい。 ・動画のお手本をまねしたからだ。 ・みんなで協力できたからだ。 《のせたいと思う気持ち》 ・私たちが他の人たちの役に立ちたい。 ・よい記録が出たので、すごいことを知ってほしい。 《のせたくないと思う気持ち》 ・みんなの理解を取っていない。 ・おうちの人に相談する必要がある。 ・うれしいことだけれど、顔をネットに出すのは恥ずかしい。	・新記録が出たのは、素晴らしい動画の手本があったからだという気持ちに触れる。 ☆友達の考えと比べながら、「動画をネットにのせたい気持ちとネットにはのせたくない気持ち」の両方の立場について、様々な立場から考えている。 ・ネットにのせたい気持ちとのせたくない気持ち、それぞれの考え方や感じ方について多様に触れられるような板書をする。	
	(3)インターネットの使い方について、先生からの話を聞いている場面 ・ドキドキしているわたしは、今、どんなことを考えているでしょう。	・動画をのせずに、きまりを守ることができてよかった。 ・役に立ちたいと思ったけれど、わたしだけがよければいいわけではなかったんだ。		
終末	5 自己を見つめる。 (1)本時の授業で大切だったことをまと		☆きまりを守ることの大切さを理解し、自分のこととして考え、自らの気持ちを考え、今後	1 0

	<p>める</p> <ul style="list-style-type: none"> この時間の道徳の学習で「心に残った宝物」を書きましよう。 <p>(2)教師の話聞いて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットに動画をのせるかを考えるときには、自分だけではなくみんなの意見も聞き、のせるかを決めることで、きまりを守る必要がある。 のせるほうもせないほうも理由があるが、大人の人に聞いてから判断することが大切だと思う。 <p>①担任が関わった部活の動画についての話 ②テレビに出演するときの話</p>	<p>の生活に活かそうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心に残った大切な宝物」を書かせることで、きまりを守ることの大切さについて理解を深められるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 発言は求めず、児童が考えを深めることができるようにする。発言をしたい児童がいるときには、自由に発言できるようにする。 	
--	--	--	--	--

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・ 友達の考えと比べながら、「動画をネットにのせたい気持ちとネットにはのせたくない気持ち」の両方の立場について、様々な立場から考えている。

【道徳的価値についての理解と自分との関わりで深めている様子】

- ・ きまりを守ることの大切さを理解し、自分のこととして考え、今後の生活に活かそうとしている。

7 板書計画

